

様式1

## 令和元年度指定管理者モニタリング評価表(中間)

施設名	ユーフォリア千里浜		
指定管理者	有限会社 プロジェクトドゥ		
住所	羽咋市千里浜町タ1番地67	選定方法	公募
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日		
指定管理料	30,000千円(令和元年度現計予算額)		
評価担当課	生涯学習課		
年度重点目標	施設の効率的な維持管理及び適切な人員配置を行うことで、利用者の利便性を図るとともに利用者の増加を図る。また、サービスの質を落とすことなく経費の削減を図り、健全な経営を行う。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	B	-	聞取り書類	事業計画書にて確認、名簿を受理
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	-	聞取り書類	定期的に研修を実施
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	-	聞取り書類	事業計画書にて確認
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	-	書類	事業計画書にて確認
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	-	現地	現地確認
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	-	書類	書類確認
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	-	聞取り 現地	迅速な対応に努めている
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	-	書類	台帳確認
3 サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	-	聞取り	指定管理者でホームページを作成
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	-	聞取り	事例なし
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	-	書類	アンケート確認
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	-	聞取り 書類	苦情・アンケート意見に対する改善
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	-	聞取り 書類	避難訓練を年2回実施 マニュアルを作成し実施
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A	-	書類	総合賠償責任保険及び 建物総合共済損害保険に加入

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A	-	聞取り書類	適正に管理されている
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	-	聞取り書類	月別報告書にて確認
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	-	書類	収支状況の報告書で確認
		定められた料金を適正に收受しているか。	A	-	聞取り	条例を遵守
7	施設利用状況	前年同期と比較し、利用者数・施設稼働率等に著しい差異がないか。ある場合は、その原因は何か。	A	-	書類	利用状況報告書で確認
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	-	書類	毎月10日までに報告書の提出
9	アンケート調査意見及び対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・露天風呂と洗面台の蛇口等の故障やシャワーホースが汚れているとの指摘を受け、修繕及び清掃を行った。</li> <li>・風呂場が滑りやすいとの指摘を受け、原因調査を行い使用しているシャンプー等を変更し対応した。</li> <li>・プールのロッカールームから時々異臭があるとの指摘を受け、ルーム内の清掃を回数を増やし定期的を実施。</li> </ul>				
10	今後、検討・調整が必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇研修の充実を図り、接客対応を含めサービスの質をより向上させる。</li> <li>・全体的に昨年度より増収となっているが、ホームページ等でPRに努めるよう指示した。</li> <li>・新しいプランを立案・検討し、利用者の増加を図るよう指示した。</li> <li>・年間を通じてスイミングスクールの開校を指示した。</li> </ul>				
11	今後の管理方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱源の電化に伴い、プール水や浴槽水の温度低下を防ぐため、冬場の12月～水面をシートで覆う等保温に努める。</li> <li>・二酸化炭素の排出を抑制するため、12月から3月末までの冬季間、露天風呂の使用を制限する。</li> <li>・冬場に向け空調機器の運用や、設定温度の適正化を図る。</li> <li>・施設及び機器の老朽化で修繕箇所が多くあるため、優先順位を定め計画的な修繕が必要である。</li> </ul>				
総合評価	中間評価		年間評価		平成30年度	平成29年度
	A		-		B	A